

刊行にあたって

医療技術の進歩は日進月歩であり、われわれ歯科医師は常に最新の知識と技術を習得し、臨床力を身につける必要がある。とくに日本の将来の歯科医療を担う若手の歯科医師にとって、日々の研鑽は欠かすことができない。一方で日常臨床においては、さまざまな疾患や悩みを抱えた患者が歯科医院を訪れ、それらは種々の原因因子や関与因子が複雑に絡み合っていることが多い。そのため、多くの開業医、勤務医は非常に幅広い分野をバランスよく勉強し、歯科全般にわたる診断能力と手技の向上が求められる。

私が30代のころに仲間を集めて始めた「上田塾」では、毎月会員による活発なプレゼンテーションとディスカッションを行ってきた。その内容は臨床の基本を大事にしつつ、新しい技術から医院経営にいたるまで多岐にわたり、会員の歯科医療全般の知識と技術の底上げに寄与していると考えている。

本書では、日々臨床手技の研鑽に努める上田塾の会員が、一つ一つの臨床のステップや長期予後を得るためのエッセンスについて、症例を交えて解説する。基本的な臨床手技の習得はもちろん、ワンランク上の治療テクニックを目指す先生方の要望に応えるため、歯内療法、歯周治療、保存修復、クラウン・ブリッジ、有床義歯、咬合誘導、口腔外科、インプラントの8領域における日常臨床の技とコツを一冊にまとめた。本書が読者の臨床の悩みの解決の一助になれば幸いである。

2019年4月
上田秀朗